

# 連敗6でストロップ

## サンガイア 警視庁にストレート勝ち

男子バレーボールのVチャレンジリーグIの第5週第1戦が12日、各地で行われた。つくばユニテッドサンガイアは、つくば市金田の桜総合体育館で、警視庁フォートファイターズ(東京)と対戦。3-0でストレート勝ちを収め連敗を6で止めた。通算成績を2勝6敗とした。13日は午後1時から、同体育館で東京ヴェルディと対戦する。

## ホームの声援後押し



【サンガイアー警視庁】第2セット、得点を喜ぶ白石主将(左から2人目)=つくば市金田の桜総合体育館

サンガイアは、新加入選手の奮闘とホームの声援にも後押しされ、前回の対戦で惜敗した難敵に快勝した。第1セットは拮抗し、18-19でサーブが回ってきた新加入の宮下拓也がサーブミス。さらに宮内健嗣が得点を決めた後、宮下がノータッチエースを決め、勢いのままに先取した。第2セットも競り合

## 宮下 Vリーグ初出場で躍動

Vリーグ初出場の宮下拓也が、チームに勢いをもたらした。宮下は「インカレ準優勝のいい流れを、持ってきたかった」と、先発出場。サーブやバックアタックで躍動した。

アタックを決め、さっそく役割を果たした。今まで集中マークを受けていたエースの瀧沢陽紀は「攻撃の幅が広がり、本場に助かってくれた」と高く評価し、「歓迎。菊池孝一監督は「フレッシュなメンバーがいい風を吹かす」と話した。

1セットに2本のサーブミスを決めて、流れを引き寄せた。効果率は25.3%。「自分のベストな状態で強く打つことを意識した」と手土産を話した。

筑波大バレー部員として全日本大学バレーボール選手権大会(インカレ)に出場し、6日に決勝戦を終えたばかり。「まだコンビなどが合わない場面もあったが(セッターの)浜田さんが上手く使ってくれた」とチーム最多となる5本のバック



V・チャレンジリーグI第5週第1戦 (12日、桜総合体育館)  
つくば 25-21 警視庁  
ユニテッド 3 29-27 0 フォート  
サンガイア 25-22 ファイターズ



筑波技術大のバレーボール部員ら。同部員らに同

サンガイアの試合前には、筑波技術大の現役選手とOB選手によるデフ(聴覚障害者)バレーのエキシビションマッチが行われた。耳が聞こえづらい選手らが、障害を感じさせないプレーを披露。試合は現役チームがセットカウント2-0で勝利した。

MIP(最も印象に残った選手)に選ばれた現役チームの井上拓也主将(4年)は「観客の前で試合をするのは、今までやってきた環境と全く違い、自分のプレーができるかな不安だったが、力を出された」と笑顔だった。

筑波技術大バレーボール部男子は20年以上前から健常者に混じって、関東大学リーグでプレーしている。女子も今年度から、同リーグに参加した。井上主将は「耳が聞こえないことがハンディだとは感じていない。バレーが普通にできることをプレーで示したい」と熱意を見せた。

同大がサンガイアのホームゲームでエキシビジョンマッチを行うのは初めて。今井計は「監督は「大きな会場でプレーすることは、選手らにとってもいい経験になったと思う」と目を細めた。

筑波大OB熱唱 会場盛り上げる

試合前と試合後は筑波大のアカペラサークル「Door-Work」のOBらがライブを行い、会場を盛り上げた。

同サークルは、2005年に筑波大で行った東西インカレのテーマソングとして「闘え!」を作った。今回、サンガイアからの依頼を受け当時のメンバーが集まり、1日限りの再結成にいたった。

代表の堀幸太さんは「この曲をきつかけに闘志をみなぎらせてほしい」という思いを込めて作ったと話した。(山本一暁)

## 紙面掲載写真を販売します。

常陽新聞紙面に掲載した写真をプリントして販売します。原則として本人または家族からの申し込みに関し、希望のサイズで受け付けます。定期購読者は販売定価の20%を割引きます。同一物2枚以上の場合の割引もあります。

キャビネサイズ	六ツ切り	ワイド六ツ切り	四ツ切り	ワイド四ツ切り
127mm×178mm	203mm×254mm	203mm×305mm	254mm×305mm	254mm×368mm
1,000円	2,000円	2,500円	3,000円	3,500円

※販売価格は税別です。弊社窓口で手渡します。配送の場合別途送料が必要です。写真のデータは提供できません。弊紙記者が撮影したものに限りです。



お問い合わせ 紙面掲載写真販売係

〒305-0031 つくば市吾妻3-10-13 つくば文化ビル1F  
常陽新聞株式会社 TEL:029-869-9800(代) FAX:029-869-9836